

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

USER'S GUIDE 1698・1918*JA

- Shock resistant construction
- 20-Bar water resistance
- Low-temperature resistance (-20°C)
- EL backlighting
- BPM Counter
- 1/100sec. stopwatch
- Full auto calendar
- Alarm/Hourly time signal

CASIO

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。

※本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ①金属・皮革に対するアレルギー
- ②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
- ③体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。



安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。

⚠ 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）



○記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）

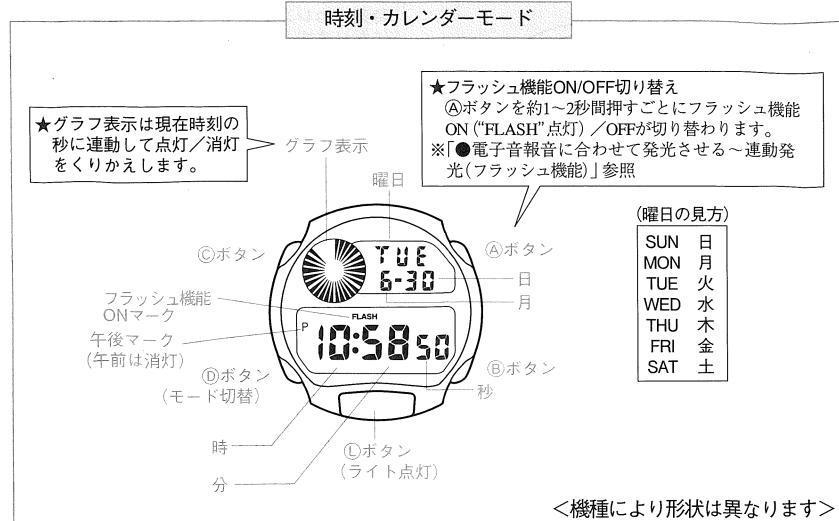


●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

操作のしくみと表示の見方

①ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。

※機種によりデザイン上デジタル表示部に反転液晶を使用しているものもあります。



<機種により形状は異なります>



時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

■秒の合わせ方 …30秒以内の遅れ／進みの修正

月に1度くらいこの秒合わせをしていただくと、時刻はいつも正確です。

(1)時刻・カレンダーモードのときに、

①ボタンを1~2秒間押します

→「秒」が点滅します。

〈時刻・カレンダーモード〉



(2) 時報に合わせて、
②ボタンを押します

秒が00~29のときは切り捨てられ、
30~59のときは1分くりあがって、
「00」秒になります。

※時報は「時報サービス電話117番」
が便利です。

(3)秒合わせが終りましたら、

③ボタンを押して
点滅を止めます



※秒(時刻・カレンダー)セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まり、時刻・カレンダーモードに戻ります。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

■時刻・カレンダーの合わせ方

(1)時刻・カレンダーモードのときに、

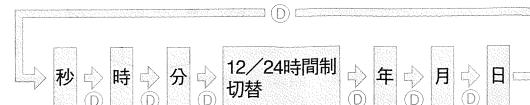
①ボタンを1~2秒間押します

→「秒」が点滅します。

(2)セット箇所を選ぶ

②ボタンを押します

③ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順に移動します。



(3)点滅箇所のセット

④ボタンを押します

→④ボタンを押すと点滅箇所の数字が1つずつ進みます。
※④ボタンを押し続けると数字が早送りします。

〈時刻・カレンダーモード〉

12/24時間制切替



上記(2)~(3)の操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。
※12/24時間制切替のときは、④ボタンを押すごとに12時間制“12H”と24時間制“24H”とが切り替わります。

※「時」のセットのとき午前／午後(P)、24時間制にご注意ください。
※「年」は1995~2039年までセットできます。

なお、「年」をセットすると自動的に曜日を表示します。

(4)セットが終りましたら、

⑤ボタンを押して
点滅を止めます

表示照明用ELバックライトについて

本機の表示部にはELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、電子音の報音に合わせて文字板が発光するフラッシュ機能もあります。

●ボタンを押して発光させる～手動発光～

●時刻・カレンダーモード、ストップウォッチモード、アラームモードのときは、

①ボタンを押します

〈時刻・カレンダーモード〉



●BPMモードのときは、

②ボタンを押します

→どのモード(表示)のときでも、文字板にあるELパネルが約2秒間発光します。
なお、フラッシュ機能ON("FLASH"点灯)のときは、約5秒間発光します。

●電子音報音に合わせて発光させる～連動発光(フラッシュ機能)～

フラッシュ機能は、電子音報音のタイミングに合わせて自動的に文字板が発光する機能です。また、フラッシュ機能ON("FLASH"点灯)にすると、手動発光での文字板の発光が5秒間にになります。

※電子音報音(発光)のタイミングについては各機能の項目をご覧ください。

時刻・カレンダーモードのとき、

①ボタンを約1～2秒間
押します



→①ボタンを約1～2秒間押すごとにフラッシュ機能
ON("FLASH"点灯)/OFFが切り替わります。

<EL発光についての注意事項>

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがあります。これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精度：平均月差±15秒以内

基 本 機 能：月・日・曜日・時・分・秒・午前(P)/午後(P)/24時間制表示(24)、
フルオートカレンダー(1995～2039年)

B P M 機 能：セット単位=5
セット範囲=60～200
電子音=1分間

ストップウォッチ機能：計測単位=1/100秒
計測範囲=23時間59分59秒99(24時間計)
計測機能=通常計測、積算計測、スプリット計測、
1・2着同時計測

ア ラ ー ム 機 能：時刻アラーム セット単位=時・分
時報 電子音=20秒間
毎正時に電子音で報知

そ の 他：自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え、
EL(エレクトロルミネッセンス)バックライト、
フラッシュ機能、モニターアラーム、
耐低温仕様(-20℃)
ブラックライト対応液晶(特定の紫外線に反応して発光)

主 要 回 路 素 子：音叉型高性能水晶振動子 ワンチップCMOS-LSI

使 用 電 池：CR-2016(電池別途販売)

電 池 寿 命：約18ヵ月(ライト2.5秒間(ボタン押し1回)/日、電子音20秒間/日、BPM機能5回/週、120BPMを1分間/日使用した場合)
※ただし、ライトの使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。
●1日あたりライト12.5秒(ボタン押し5回)使用……約14ヵ月
●1日あたりライト25秒(ボタン押し10回)使用……約10ヵ月

BPM機能の使い方

時刻・カレンダーモードのときに①ボタンを1回押すと、BPMモードになります。

BPMは任意のビートを設定できます。セットしたビート（一定のリズム）で1分間電子音が鳴ります。

■BPM機能とは

BPM*とは、任意のビートで1分間電子音を鳴らすことのできる機能です。ラップなどで一定のリズムに合わせて音を出したり、動いたりするときに大変便利です。BPMモードに切り替えると、前回BPMモードで最後に設定したビート数を表示します。

*BPMはBeats Per Minuteの略で、1分間のビート数を意味します。

■ビートの再生

BPMモードのときに、

①ボタンを押します

→設定されているビートで1分間電子音が鳴ります。

※ビート再生中に①②③④⑤ボタンのうち、いずれか1つを押すと音が止まります。

■ビートを設定する

ビートを設定するにはビート入力とビート数セットの2通りがあります。

ビート数は5つごとに60~200の範囲で設定できます。なお、ビート数が多くなるほど、ビートは速くなります。

●ボタンを押してビートを入力する（ビート入力）

BPMモードのときに、

①ボタンを6回押します

→①ボタンを6回押すと、その平均ビートを算出し、表示します。

※①ボタンを押すごとに「1→2→3→4→0」と表示されます。

※①ボタンを6回押さないと、ビートは入力されません。

※ビート入力中に3秒間①ボタンによる操作がないと、BPMモードに戻ります。



●ビート数を設定する（ビート数セット）

(1)BPMモードのときに、

②ボタンを1~2秒間押します

→ビート数が点滅します。



(2)②または④ボタンを押します

→②ボタンを押すと点滅箇所の数字が5つずつ進み、④ボタンを押すと5つずつ戻ります。

※それぞれ押し続けると数字が早送りします。

※表示が点滅しているときに、②ボタンと④ボタンを同時に押すと、ビート数が120になります。



(3)セットが終わりましたら、②ボタンを押して点滅を止めます

※セット表示のまま2~3分経過すると自動的に点滅が止まります。

●自動復帰…BPMモードのまま1時間ボタン操作を行なわないと、自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。



平均ビートを算出



アラームの使い方

時刻・カレンダーモードのときに①ボタンを3回押すと、アラームモードになります。

アラームは時・分を設定できます。セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

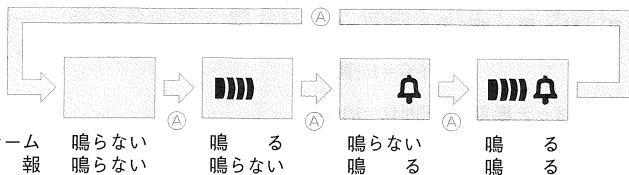
■アラーム・時報を鳴らすには

アラームモードのときに、

①ボタンを押します

→①ボタンを押すごとに以下の順でアラームON/OFFおよび時報ON/OFFが切り替えられます。

※なお、アラーム時刻をセットすると“”が点灯し、自動的にアラームONとなります。（「アラーム時刻のセット」参照）



■アラーム・時報の報知方法

●アラームONのとき

セットしたアラーム時刻になると、20秒間電子音が鳴ります。

●時報ONのとき

毎正時（00分）になると、“ピッピッ”と電子音が鳴ります。

※このとき、いずれの場合でも、フラッシュ機能ON（“FLASH”点灯）にしておくと、電子音に合わせて文字板が発光します。

■鳴っている電子音を止めるには
アラーム（時報）音およびこのときの文字板の発光を止めるには、①②③④⑤ボタンのうち、いずれか1つを押します。

■モニターアラーム

アラームモードのときに②ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。



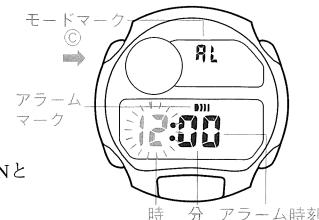
■アラーム時刻のセット

(1)アラームモードのときに、

②ボタンを1~2秒間押します

→アラーム時刻の「時」が点滅します。

※このとき“”が点灯し、アラームONとなります。



(2)セット箇所を選ぶ

③ボタンを押します

→③ボタンを押すごとに「時」「分」が交互に点滅します。

(3)点滅箇所のセット

④ボタンを押します

→④ボタンを押すと点滅箇所の数字が1つずつ進みます。

※④ボタンを押し続けると数字が早送りします。

※「時」のセットのとき、12時間制では午前／午後(P)にご注意ください。

※時刻を24時間制にしているときは(24点灯)、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。



(4)セット後、点滅を止めるには、

②ボタンを押します

※セット表示のまま2~3分経過すると自動的に点滅が止まります。



ストップウォッチの使い方

時刻・カレンダーモードのときにⒶボタンを2回押すと、ストップウォッチモードになります。

ストップウォッチは23時間59分59秒99(24時間計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

ストップウォッチモードのときに、

- Ⓑボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

★計測中にⒶボタンを押すと、スプリット計測となります("SPL"点灯)。もう一度Ⓐボタンを押すとスプリットが解除されます。(スプリット計測中は、表示は止まりますが内部では計測を続けています。)

★計測終了後Ⓐボタンを押すと計測値が0に戻ります。

※Ⓑ・Ⓐボタンともそれぞれ押すと操作確認音が鳴ります。

●通常計測
Ⓑ → Ⓑ → Ⓐ
スタート ストップ リセット

※積算計測…ロストライムがある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート(Ⓑボタンを押す)すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム(途中経過時間)の計測
Ⓑ → Ⓐ → Ⓑ → Ⓐ → Ⓑ → Ⓐ
スタート スプリット スプリット解除 ストップ リセット

●1・2着同時計測
Ⓑ → Ⓐ → Ⓑ → Ⓑ → Ⓐ → Ⓐ
スタート 1着がゴール 2着がゴール 2着タイム表示 リセット



ご使用上の注意

防水性 ●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング(素潜り)	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。

※専門的な潜水=スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。

- 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
- 防水構造の機種は、シャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安に)なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)
- 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事、水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バンド ●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

- 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがあります。人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温度 ●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。

- +60°C以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。
- 低温下で使用し、ボタン部分が凍結した場合、ボタン操作ができなくなることがあります。常温に戻ればボタンは正常に作動します。

ショック ●腕についたままモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い振動を受けても時計には影響ありません。

- 腕についたまま激しいスポーツなどのショックが加わっても時計には影響ありません。

磁気 ●磁気の影響はありません。

- 水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管 ●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■お手入れについて

お手入れ ●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

- 金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れ(サビ)

を拭ると ●ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。

- 汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

「劣化」

- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

「かぶれ」

- 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。
- 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。
- 特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

■螢光商品のお取り扱いについて

螢光商品のケース/バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。

- 長時間、直射日光に当てますと、色あせする場合があります。
- 長時間、濡れたままにしておくと色がおちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとて、乾かしてください。
- 長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくと、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けください。
- プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

■電池交換について

最初の電池 ●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることができます。

- モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことと、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

消耗 ●なお電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立つたり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。

●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

- 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。

●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

- 電池交換の際、防水検査を行ないます。(防水検査は別途有料となります)

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ELパネル(表示照明部)の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。